

実績報告書

届出者	住所	東京都千代田区大手町1-9-2	氏名	株式会社 野村総合研究所 取締役社長 此本 臣吾
特定事業者の主たる業種		39情報サービス業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		<p>NRIは「ナビゲーション」と「ソリューション」の二つのサービスを相乗的に機能させることで「トータルソリューション」を提供しています。この二つのサービスは、社会のほとんどの分野、企業活動や人々の生活にかかわるあらゆるテーマをカバーしています。</p> <p>「ナビゲーション」---お客様の課題や将来あるべき姿を提示し、調査、研究、マネージメントコンサルティング、システムコンサルティングなどのサービスを提供。</p> <p>「ソリューション」---情報システムの企画・設計から開発、運用処理までを手がけています。</p>		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間				
2018 年	4 月	1 日	～	2021 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2017)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	14,282 t-CO ₂	13,979 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)	16,420 t-CO ₂	15,921 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2020 年度)	第1年度 (2018 年度)	第2年度 (2019 年度)	第3年度 (2020 年度)
選択 レ	削減率 (排出量ベース)	%	%	%	%
	削減率 (原単位ベース)	3.0 %	11.3 %	1.4 %	%
削減率 (平準化補正ベース)		%	3.8 %	2.3 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(U P S 電力量のCO2排出量換算値)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>I T 機器使用量の増加に対して、I T 機器以外の使用量を抑えることができた。 また、I T 機器使用量の減少に対しても、I T 機器以外の機器運用を適正化し、使用量を抑えることができた。</p>
--

(2) 推進体制

<p>野村総合研究所環境方針「地球環境保全に貢献するため、全従業員1人1人が環境に配慮したシステム運用サービスを提供し、継続的な環境改善活動を推進します。」</p>
--